

1 社会科の教科書の特徴

- (1) 誰でも楽しく指導できる教科書
 - 社会科が苦手な教師も使用できる。
 - 問題解決的な学習の進め方を丁寧に示している。
 - 学び方のポイントが示されている。
 - ・資料の活用の仕方
 - ・学習活動の事例
 - ・表現活動の例示など
- (2) 「社会が分かる、社会と関わる」ことを重視
 - 知識の習得だけでなく、生活に活用したり、社会の動きに興味・関心をもたせたりする工夫がある。
 - 児童の社会参画を促す学習過程・学習活動が示されている。
 - つかむ→調べる→まとめる
 - 深める・いかす・ひろげる
- (3) 社会の変化やニーズに対応する内容
 - 時代の変化に対応した内容を取り入れている。
 - ・日本の伝統・文化の尊重
 - ・法やきまり
 - ・経済、情報、環境の変化
 - ・防災
 - ・持続可能な社会
 - ・グローバル化
 - 学習指導要領の内容に示されたものはすべてカバーしている。
 - ←ページ数が増加、全部扱う誤った指導
 - ワイド化、ヴィジュアル化した資料を取り入れている。

教科書を使う時の課題や困っていること

- ・丁寧な編集
 - ↓子どもの思考を狭めたり、教師自身の工夫を妨げたりしていないか。
- ・(教科書では問題解決的な学習が展開できない。)
 - ↓調べさせたいこと、考えさせたいことまで丁寧に書かれているので、教科書を閉じさせたり、机の中にしまわせたり、煩雑な作業を一時間の中に入れていないか。
- ・「教科書監視型」、「教科書読解型」の授業になっっていないか。
- ・教科書を使って、どのように授業を展開すればいいか分からない。

2 教科書を第一級の資料として活用する

- (1) 問題解決的な学習の進め方を絶えず確認する手引きとして活用する。
- (2) 教科書の構成・展開の仕方に基づき、学級の実態に合った、学習計画を立てる。
- (3) 導入では、インパクトのある教科書の写真資料を用いて、疑問や問いを取り上げて学習問題につなげる。
- (4) ねらいを達成させるために読み取る資料の順番、取り扱わない資料を選択し、1時間を構成する。
 - 資料から何を読み取らせるのか、読み取る視点を示す。
 - ④「気付いたこと」を発表させるのは、ねらいからずれる危険性がある。
 - 資料から読み取ったことから、意味を考える。
- (5) 教科書を使って調べる。
 - 社会科資料集、図書資料、インターネットなど調べる資料の一つとして活用する。
 - 全員が共通して持っている。資料が精選されている。
 - ④教科書の文章は、そのまま用いない。要約する習慣付けをする。
- (6) 教科書の「まとめる」活動の内容をモデルにする。
 - ・単元のゴールイメージをもたせる。
 - ・様々な表現活動から選択する。